Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

「世界の北海道」を目指して - 北海道総合開発計画-



令和5年3月14日

国道278号尾札部道路の一部区間が開通します ~世界文化遺産(大船遺跡)へのアクセス向上~

同事業では引き続き、事業中区間の工事を行いますので、道路利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

記

- 1. 開通区間 国道278号 尾札部道路(延長14.8km) のうち 函館市豊崎町~大船町 延長0.5km
- 2. 開通日時 令和5年3月25日(土)午前9時
- 3. その他 (1) 気象条件等により開通日を変更する場合があります。
 - (2) 詳細な通行方法は別紙をご覧ください。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

道路計画課長 武田 祐輔 (0138)42-7614 (内線351)

広報官 福島 志乃 (0138) 42-7702 (内線216)

函館開発建設部ホームページ https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/



国道278号 尾札部道路 延長0.5km 令和5年3月25日(土)開通

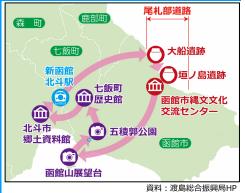
- ○国道278号は、函館市を起点とし、渡島半島沿岸を経由して森町に至る115kmの幹線道路です。
- ○尾札部道路は、函館市尾札部町〜函館市大船町間の落石・岩盤崩落等の災害危険箇所、急 カーブ区間、津波浸水想定区域の回避による、道路の安全性向上及び地域の安全確保を目的とした、延長14.8kmの事業です。
- ○このうち、函館市豊崎町~大船町の延長0.5km区間が、令和5年3月25日に完成し開通します。



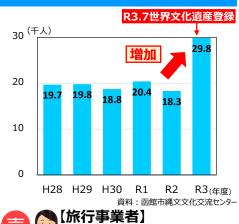


- ■大船遺跡、垣ノ島遺跡などは、観光モデルルート「ぐるっと縄文in北海道」を形成しており、また令和3年7月世界文化遺産登録を機に、函館市縄文文化交流センターの入館者数が増加しています。
- ■大船遺跡に立ち寄るには、尾札部道路の開通済区間から道道臼尻豊崎線・国道278号・市道を利 用することになり、アクセス性に課題があります。
- ■今回開通区間の整備により、垣ノ島遺跡、函館市縄文文化交流センターから大船遺跡までのアクセス 性が向上するとともに、狭小幅員、急カーブ、急勾配道路の回避によるアクセス性の向上を支援します。

観光モデルルート 「ぐるっと縄文in北海道」



函館市縄文文化交流センター 入館者数



世界文化遺産へのアクセスルート



■ 尾札部道路の部分開通により、垣ノ島遺跡、函館市縄文文化交流センターから大船遺跡へのアクセスが強化され、大船遺跡を含むツアー行程など新たな立ち寄り場所の設定につながります。

さらに、大船遺跡へのアクセス路は、道幅が狭く、急カーブ、急勾配であり、車両同士の接触といった事故の危険性を感じているため、安全性 の向上も図られると期待しています。



■尾札部道路に並行する現道は、延長の約9割が津波浸水想定区域を通過していますが、標高が高い 位置にある尾札部道路は、津波浸水時の一時的な避難場所として機能することが期待されます。

国道278号 尾机部道路

■尾札部道路の整備により、津波浸水想定区域を回避する救援物資等の輸送ルートが構築されることから、道路の安全性向上及び地域の安全確保が期待されます。



国道278号 尾札部道路の通行方法の変更について 別紙





【変更内容】

